

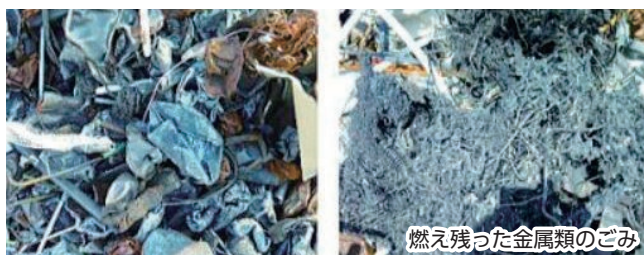
10月は 「3R推進月間」

"3R"とは、Reduce（^{リデュース}減量化）、Reuse（^{リユース}再利用）、Recycle（^{リサイクル}再資源化）の3つの取り組みの頭文字を取ったものです。

本市は、3Rの推進でごみの量を減らし、循環型社会の実現を目指しています。 圃 谷和原庁舎生活環境課（内線 3306）

ごみの分別にご協力ください

ごみの分別は、限りある資源を有効に活用するためのほか、安全で効率的なごみ処理を行うために必要不可欠です。分別しないままごみを出すと、作業員がケガをしたり、焼却炉などの施設が壊れる原因になります。ごみは正しく分別するようお願いいたします。



▶分別のポイント

○プラ容器（プラスチック製容器包装）、ペットボトル



これらのマークが付いているもので、汚れていないものは「資源物」へ、汚れた落ちないものは「不燃ごみ」へ

※ペットボトルはキャップとラベルを外し、中をすすいでください。

○可燃ごみ：リサイクルできない紙くずや生ごみなど

※金属やプラスチックは「不燃ごみ」へ

○不燃ごみ：資源物や可燃ごみ以外のごみ

…ほかにも、資源物（ビン、あき缶、古布）、粗大ごみ、有害ごみなどがあります。詳しくは「常総広域圏家庭ごみ分別の手引き」や市ホームページをご覧ください。



ごみ集積所は

きれいに利用しましょう



ごみ集積所に、分別が不十分で収集されないごみがあるまま放置されているという相談が多く寄せられています。分別が不十分なごみは、収集されない理由を書いた啓発シールを貼りますので、捨てた方は、適正に分別をしてから再度集積所に出してください。

集積所の管理は、利用者の皆さんが協力して行っています。収集されないごみを放置すると、野生動物に荒らされるなど、周辺の家やほかの利用者への迷惑になります。

ルールを守って適正にごみを分別し、集積所をきれいに利用しましょう。

▶集積所に出すときの注意点

○ごみ収集日の朝8時までに出しましょう。

○指定袋で出しましょう。

スプレー缶などは

安全にしてから捨てましょう



カセットボンベやスプレー缶、ライターなどを捨てる時は、必ずガス抜きをして安全にしてから捨ててください。

詳しくは市ホームページをご覧ください。



▶ガス抜き作業時の注意点

○必ず風通しの良い屋外で行う。

○周囲に火の気がないことを必ず確認する。

○一度に大量に処分せず、少量ずつ処分する。

ペットボトルを

水平リサイクルしています



常総地方広域市町村圏事務組合と地元のアサヒ飲料(株)・キリンビバレッジ(株)は「ペットボトルの水平リサイクルに関する協定書」を締結しており、回収したペットボトルをペットボトル原料に再生し、両社の新たなペットボトルとして再利用しています。

ペットボトルからペットボトルを生産することで、リサイクル用途を明確にするとともに、従来の石油からの生産に比べ約5割のCO₂削減も図られ、脱炭素社会につながります。

これからは "5R" の時代に

3Rに、Repair（^{リペア}修理）、Refuse（^{リフューズ}断る）の2つの取り組みを加えた"5R"という考え方が広がってきています。リペアは、ものを修理して使うこと。少ししか壊れていないものを捨てる前に、修理できないか考えましょう。リフューズは、ごみになるものを断ること。マイバッグを持参してレジ袋を断ったり、買いたいものが本当に必要なものなのか、買う前によく考えましょう。